

発行:東京都港区虎ノ門
2-10-1 虎ノ門ツインビルデ
ィング西棟 4 階
富士通虎ノ門オフィス内
Mail:icscp@nifty.jp Ver.1
2017 年 2 月 06 日(月)No.046

ICSCP 産応協ニュース [第 46 号]
スーパーコンピューティング技術産業応用協議会(産応協)
Industry Committee for Super-Computing Promotion

第 9 回スーパーコンピューティング技術産業応用シンポジウム開催報告

[開催趣旨]

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会(産応協/ICSCP)は、本年度 4 月より、従来のセミナーやスクール等のコミュニティ活動に加えて、新たに「提言活動チーム」を設け、スーパーコンピューティング技術の利活用推進に向けて、より積極的に産業界の考えを外部へ発信していく取り組みを開始しました。

今回のシンポジウムでは、スーパーコンピューティング技術の新たな拡がりの可能性と役割について、有識者の方々からご講演をいただいた後、パネルディスカッションで、スーパーコンピューティング技術の産業利用の真の実用化をテーマに参加者と議論を行うことを目的に開催しました。

[実施概要]

テーマ:「産業応用の拡がり」

～身近になったスーパーコンピューティング技術～

開催日時:2016 年 12 月 21 日(水)13 時から 17 時 30 分まで

開催場所:イイノカンファレンスセンター Room A (東京都千代田区内幸町)

聴講参加者数:137 名

主催:スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

後援:文部科学省、経済産業省、一般社団法人 日本経済団体連合会

協力:東京大学生産技術研究所 革新的シミュレーション研究センター

協賛:一般財団法人 高度情報科学技術研究機構

一般社団法人 電子情報技術産業協会

一般社団法人 日本自動車工業会

一般社団法人 HPCI コンソーシアム

公益財団法人 計算科学振興財団

公益財団法人 都市活力研究所

公益社団法人 関西経済連合会

国立研究開発法人 科学技術振興機構

国立研究開発法人 理化学研究所 計算科学研究機構

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 分子科学研究所

特定非営利活動法人 バイオグリッドセンター関西

[プログラム]

一司会:産応協企画副委員長 茂本 勇一

主催者開会挨拶

産応協運営委員長 近藤賢二

来賓挨拶

文部科学省研究振興局長

関 靖直

経済産業省商務情報政策局審議官

竹内芳明

[基調講演] 「第 4 次産業革命における計算科学の役割」

国立研究開発法人 科学技術振興機構

顧問

中村道治

平成 28 年度産応協活動状況報告

産応協企画委員長

水落隆司

[講演 1] 「スーパーコンピューティングの製造業者経営への貢献」

～次世代型メカニカルシールの開発に向けた解析技術の構築～

イーグル工業株式会社技術本部技術研究部 部長 井上秀行

[講演 2] 「Fintech による金融サービスの変革」

みずほ情報総研株式会社事業戦略部 プリンシパル 宮田隆司
[パネルディスカッション]

「スーパーコンピューティング産業利用の真の実用化に向けて」
(パネラー)

- | | |
|-------------------------|------|
| ・住友ゴム工業株式会社 研究開発本部 | 内藤正登 |
| ・イーグル工業株式会社 技術本部技術研究部 | 井上秀行 |
| ・みずほ情報総研株式会社事業戦略部 | 宮田隆司 |
| ・株式会社本田技術研究所四輪 R&D センター | 内田孝尚 |
- (モデレーター)
- ・東京大学生産技術研究所革新的シミュレーション研究センター長 教授 加藤千幸

[デモ展示]

- ・講演-1のテーマの画期的なメカニシールを用いた製品サンプルの紹介
イーグル工業株式会社
- ・産応協が実施したボックスファンを用いたソフトウェアのベンチマークテスト結果の紹介

産応協 HPC ものづくりワークショップ WG

[当日概況]

今回のシンポジウムは、例年よりも若干開催時期が遅く、年末の繁忙期に向かう時期であったため、参加状況を懸念しましたが、関係各位の多大なご支援、ご協力を得て、お蔭でほぼ例年並みの137名の参加（事前登録150名）を得て、盛況に開催することができました。

1. アンケート結果

参加者アンケートの結果からは、シンポジウム全体として、参加者の満足感が感じられ、どの講演内容についても「大変分かり易かった」「大体理解できた」との回答が大多数を占めていた。また、会場や運営についても、概ね満足を頂いたと感じられた。昨今の類似イベントの一般的な傾向として、その内容に関わらず、参加者に若年層が少なく、比較的固定化されているのが現状かと思われる。産応協もこうした傾向を憂慮しており、今回も講演内容に則したデモ展示を行う、或はテーマを見直す等、試行錯誤を行った。

然しながら、大変残念ではあるがアンケート結果の参加者構成を見る限りでは、例年通り本分野に直接携わっていると思われるような若い世代や女性の参加者が少ない結果となった。

また今回は、講演テーマの関係から、大学関係、バイオ業界関係の参加は無かった。産業界の団体としては、今後の世代交代に向けた何等かの具体策を引き続き検討していく必要があると思われる。

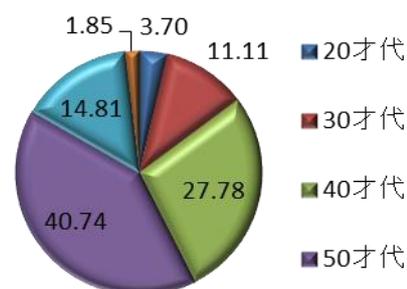
《アンケート集計結果》

[参加者構成]

概要にも触れたように、年齢別に参加者の構成を見ると、50才代が中心で、20才代30才代の若手研究者の参加が少ない。業種別では、電機・電子、情報処理関連が中心で、職種別では研究職、企画職、設計開発職が大半となっている。

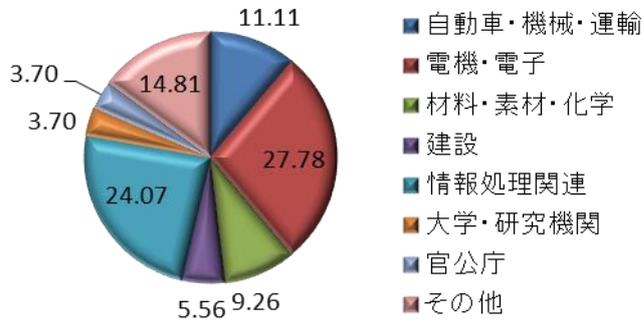
① 年齢別構成

第9回シンポジウム参加者年齢別構成



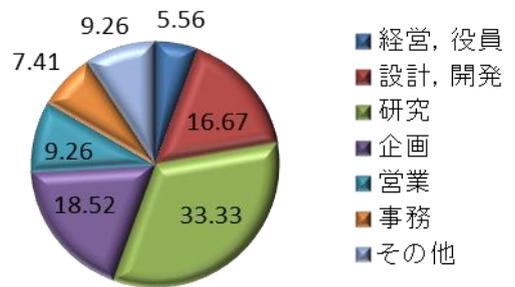
②業種別構成

第9回シンポジウム参加者業種別構成



③職種別構成

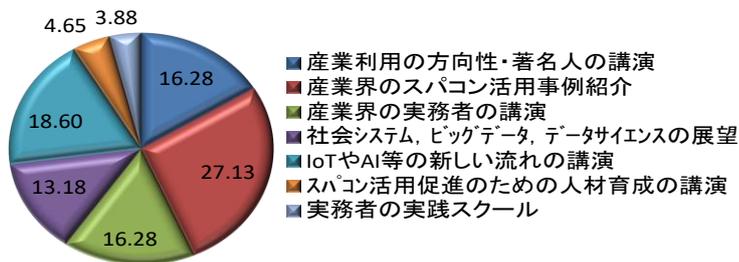
第9回シンポジウム参加者職種別構成



[産応協の今後のイベントテーマについて]

産応協の今後のイベントテーマについて、意見を聴いたところ、「産業界のスパコン活用事例の紹介」「産業界の実務者の講演」「産業利用の今後の方向性」という従来より希望の高かった項目に加え、近年のトレンドでもある、「社会システム、ビッグデータ、データサイエンスの展望」「IoTやAI等の新しい流れ」についても、関心が高いことが伺えた。

今後期待するイベントテーマ



**第9回 スーパーコンピューティング技術
産業応用シンポジウム**

産業応用の拡がり

～身近になったスーパーコンピューティング技術～

主催:
スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

開催日:
2016年12月21日(水)13:00より

会場:
イノカンファレンスセンター RoomA

<p>基調講演</p> <p>「第4次産業革命における計算科学の役割」</p> <p>国立研究開発法人 科学技術振興機構 顧問 中村道治</p>	<p>目次</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知識社会の進展と課題 2. 第4次産業革命と計算科学 3. 新しい計算科学への取組 4. スーパーコンピューターの未来 5. 終わりに <p><small>科学技術振興機構</small> 5</p>
<p>平成28年度産応協活動状況報告</p> <p>産応協企画委員長 水落隆司</p>	<p>今年度の活動 <small>IGSSP スーパーコンピューティング技術産業応用協議会</small></p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 産業基盤ソフトウェア検討WG (2) 産業シミュレーションロードマップTF (3) スパコンセミナーWG (4) HPC産業利用スクールWG (5) 中小企業シミュレーション活用WG (6) HPCものづくりワークショップWG (7)【新設】提言活動チーム 「HPCの産業利活用促進 I」検討会 <p><small>Copyright ©2016 Industrial Committee for Supercomputing Promotion</small> 5</p>
<p>講演 I</p> <p>「スーパーコンピューティングの製造器用 経営への貢献」 ～次世代型メカニカルツールの開発に向けた 解析技術の構築</p> <p>イーグル工業株式会社技術本部技術研究部 部長 井上秀行</p>	<p>超次世代型メカニカルシールの開発背景</p> <p>メカニカルシールに要求される性能は年々厳しくなっており、シール対象物の 高温・高圧化や機械の高速化などのニーズの多様化に加え、低負荷、低エネルギー損失など環境への配慮も求められています。</p> <p>本講演では、超次世代型メカニカルシール開発において、構造解析や流体解析などの CAE を有効的に活用した事例とスーパーコンピューティング事例を製造業経営への貢献と絡めて紹介致します。</p>
<p>講演 II</p> <p>「Fintech による」金融サービスの革新」</p> <p>みずほ情報総研株式会社事業戦略部 プリンシパル 宮田隆司</p>	<p>アジェンダ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Fintech (フィンテック) とは 2 テクノロジーの急速な発展 3 Fintech (フィンテック) の現状 4 金融機関の課題と対応 <p><small>Mizuho 株式会社</small> <small>Copyright ©2016 Mizuho Information & Research Institute, Inc.</small> <small>5</small></p>
<p>パネルディスカッション</p> <p>「スーパーコンピューティング産業利用の 真の実用化に向けて」 (パネラー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住友ゴム工業株式会社 研究開発本部 内藤正登 ・イーグル工業株式会社 技術本部 技術研究部 井上秀行 ・みずほ情報総研株式会社事業戦略部 プリンシパル 宮田隆司 ・株式会社本田技術研究所四輪 R&D センター シニアエキスパート 内田孝尚 <p>(モデレータ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京大学生産技術研究所 教授 革新的シミュレーション研究センター長 加藤千幸 	<p><パネル風景></p>  <p>モデレータ加藤教授からパネラー4名</p>

第 36 回スパコンセミナー開催報告

平成 28 年度第 2 回のセミナー(通算第 36 回)は、平成 29 年 1 月 24 日(火)午後 1 時 10 分から 5 時まで、機械振興会館 6 階研 67 号室(東京都港区・東京タワー前)において「ものづくりの変革をリードする IoT」をテーマに開催いたしました。

スーパーコンピューティングの応用は、科学研究から工学、社会科学など、対象が広がると同時に、その社会的意義・期待も高まりつつあります。本セミナーでは、関係分野の有識者を招いて、最新動向、事例、今後の展望等を紹介いただきました。

[実施概要]

主催：スーパーコンピューティング技術産業応用協議会（産応協/ICSCP）

日時：2017 年 1 月 24 日(水) 13:10～17:00

場所：機械振興会館 6 階 67 号室
(東京都港区・東京タワー前)

参加者数：32 名

第 36 回スパコンセミナー実施プログラム結果(20170124 機械振興開会 6-67)

<司会進行:実行委員長(住友化学株)石田雅也>

13:10～13:15 開会挨拶

産応協企画委員長(三菱電機株) 水 落 隆 司

13:15～13:50 「産業政策動向:IoT 推進ラボについて」
経済産業省 商務情報政策局 情報通信機器課

13:50～14:35 「ゆるやかな標準”でつながる日本版インダストリー4.0 への挑戦
～ IVI が取り組む日本発世界への活動内容 ～」
一般社団法人インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ
パブリシティ委員会 IVI エバンジェリスト 鍋 野 敬 一 郎
(株式会社フロンティアワン 代表取締役)

14:35～14:50 休 憩

<司会進行:実行委員会・スパコンセミナーWG 委員(株)MCHC)竹内久雄>

14:50～15:25 事例紹介:「ものづくりの将来を支える FA 統合ソリューション
e-F@ctory」

三菱電機株 名古屋製作所 e-F@ctory 推進プロジェクトグループ
マネージャー 石 田 誠

15:25～16:15 「IoT 時代の日本企業をどう方向づけるか」
～CPS データによる 新たな価値形式に向けて～
東京大学政策ビジョン研究センター

16:15～16:55 事例紹介:「NEC が実現するディープラーニングの世界 “RAPID 機械学習”
とその実用事例」

日本電気株 クラウドプラットフォーム事業部
シニアマネージャー 上 保 正 之

16:55～17:00 閉会の挨拶
産応協実行委員会・スパコンセミナーWG 主査(日本電気株)
高 原 浩 志



第 36 回スパコンセミナー 参加風景

平成 29 年 1 月 24 日(火)
午後 1 時 10 分から午後 5 時
テーマ: 「ものづくりの変革を
リードする IoT」

[開催報告]

FOCUS 第9回トップセミナー

～ビジネスチャンスを生み出し産業の未来を拓くスーパーコンピュータ～

http://www.j-focus.or.jp/event_seminar/ts9.html

1、開催趣旨

計算科学振興財団が運用する「FOCUS スパコン」の累計利用法人数は今年度230 法人を超え、産業界のスーパーコンピュータ利活用は着実に広まっています。

また近年話題を集める「ビッグデータ」「人工知能」などの分野でもスパコン活用が進み、「京」は先ごろ発表されたビッグデータ解析性能を競う「Graph500」で4 期連続の世界一位となりました。さらにポスト「京」は世界トップレベルの汎用システムとして開発が進んでいます。

この世界的な潮流を、企業の経営者層や技術部門トップの方々により深くご理解いただき、イノベーションや新産業の創出の一助となることを目的とし本セミナーを開催いたしました。

2、日時 平成29年2月25日(水)13:30～17:30 (受付12:30～)

3、会場 神戸商工会議所 神商ホール ※アプリベンダー企業等の展示コーナーを併設

4、参加者 114名

5、内容

- ・挨拶 (13:30～13:50) ・主催者(計算科学振興財団) ・来賓(文科省、経産省)
- ・基調講演 (13:50～15:00) 「スパコン利活用で貴社ビジネスに人工知能破壊(AI による破壊的イノベーション)を起こす！」

村上 和彰 氏 九州大学 名誉教授 公益財団法人九州先端科学技術研究所 副所長

- ・休憩 (15:00～15:20)
- ・講演Ⅰ (15:20～16:15) 「住友ゴムにおけるシミュレーション技術の開発と活用」
白石 正貴 氏 住友ゴム工業株式会社 研究開発本部 研究第一部 部長
- ・休憩 (16:15～16:30)
- ・講演Ⅱ (16:30～17:25) 「視点をかえれば宝の山 ～夢をかたちに～」
水尾 衣里 氏 名城大学 人間学部 人間学科 教授
- ・閉会

6. 企業・団体展示

セミナー会場隣室にて企業・団体展示を行いました。 展示時間:12:30～16:30

{開催案内/情報共有}

第8回スパコンを知る集い in 岡山

～「京」からポスト「京」へ～

スーパーコンピュータやシミュレーションの役割・重要性を知っていただくための講演会

主催:理化学研究所 計算科学研究機構

開催日時:2017年2月11日(祝日・土曜日)午後1時30分から午後4時

開催場所:岡山コンベンションセンター 3階コンベンションホール

プログラム:

- 13:30-13:35 主催者挨拶
- 13:35-14:20 ・「京」メイキング動画上映

	・ショートレクチャー ・参加者からの質問コーナー
14:20-14:35	休憩
14:35-15:05	スパコンで水を研究する ～シミュレーションによる水・凍り・ハイドレートの科学～
15:05-15:15	質疑応答
15:15-15:45	社会シミュレーションと無スーパーコンピュータ ～交通・経済現象などを解き、よりよい社会へ～
15:45-15:55	質疑応答
15:55-16:00	エンディング

◆参加費：無料（事前登録制）

◆講演会の詳細、お申込みは下記 Web サイトをご覧ください。

<http://www.aics.riken.jp/shirutsudoi/meeting25.html>

{開催案内/情報共有}

JAMA デジタルエンジニアリングセミナー2017 開催のご案内

このたびは、一般社団法人 日本自動車工業会（以下、自工会）の活動一環として、電子情報委員会デジタルエンジニアリング部会では、個社では解決出来ない課題に業界として取り組み業界を越えた標準化による基盤強化と将来動向を踏まえた先端技術の実用検証により質の高い新たな日本の「ものづくり」をリードすることを基本理念として、

①ニーズを先取りした標準化活動、協調活動、先端技術研究活動にチャレンジ

②より実利が期待できる新たな活動テーマを発掘し、展開

の活動を行っています。

今回、デジタルエンジニアリング部会の各種活動成果と今後の取り組みについて説明するセミナー開催をご案内します。

◆イベント名称 JAMA デジタルエンジニアリングセミナー2017

◆主催 一般社団法人 日本自動車工業会 電子情報委員会

◆日時 2017年2月24日(金) 13:00～17:00 (受付開始 12:30)

◆会場 TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター4F ホール 4A
(東京都中央区八重洲 1-2-16 TGビル)

◆参加費 無料

◆申込方法 お申込は以下のホームページから、または、別紙参加申込書(Fax)にて
<http://www.seminar.jp/jds2017/>

◆受講票 2 月初旬より順次、事務局よりご登録されたメールアドレスへ受講票を送信、お手数ですが、受講票メールのプリントを会場へご持参下さい

◆定員 120 名（定員に達し次第申込を締め切らせて頂きます）

◆申込締切日 2017 年 2 月 17 日(金)17:00 締切

◆お問合せ先 一般社団法人日本自動車工業会 総務統括部電子情報システム担当
Tel : 03-5405-6130

※10:00～17:00(12:00～13:00、土日祝除く)

E-mail:jds2017@mta.jama.or.jp

産応協平成 28 年度第 3 回スパコンセミナー共催イベントのご案内

第 3 回材料系ワークショップ

http://www.hpci-office.jp/pages/ws_material_170223

～計算物質科学を拓く第一原理計算とその機能モジュール～

2017 年 2 月 23 日 (木) 10:00～17:30 秋葉原 UDX 4 階 NEXT-1

「京」における国家プロジェクト HPCI 戦略プログラムなどでは、「京」の超大規模計算機を活用するため、多様なアプリケーションが開発され、なかでも材料系分野（戦略分野 2、4）で開発されたアプリケーションの一部は、産業界の先端的なユーザにも利用され、成果を上げてきました。また HPCI 戦略プログラムに続くポスト「京」重点課題 5、6、7 などでは、材料系分野のアプリケーションの開発が進められています。しかし、我が国の産業競争力強化やその成果の創成へ向けて、産業界における HPC 活用のより一層の高度化・拡大、優れたアプリケーションの産業界への普及促進が不可欠です。

本ワークショップ (WS) は、企業や研究機関などの材料系分野の研究・開発者の方に、計算シミュレーションの使い方や有効性を知って頂くことを目的に、材料系アプリケーションの研究活用事例や、大規模計算を行うためのノウハウ、チューニング手法などの話題を取り上げます。これから使用してみたいという方から、大規模な計算を検討されている方まで幅広く、利用者に有益となるような情報提供を行います。

物質・材料の性質は、原子や分子の状態によって決まるので、第一原理シミュレーションは原子・分子スケールの現象を明らかにできる強力なツールです。今回の WS は、第一原理計算の話題を中心とし、

- ・大規模計算を可能にする FMO、燃料電池等への応用で注目される ESM など第一原理計算の専用機能や、ポストアプリケーション、GUI 支援ツールの紹介
 - ・物質材料科学とデータ科学を融合させるマテリアルズインフォマティクスへの取り組みの紹介
 - ・産官学連携推進のためのより良い関係構築、枠組作りのために、情報交換、意見交換を行うパネルディスカッション
- などのプログラムになっています。

同時に、企業や研究機関において、「京」を中核とした HPCI をご利用頂くための申請手続きや支援サービスなどについての利用相談を行いますので、ご遠慮なくお申し出ください。

主催・共催・協賛

主催：一般財団法人 高度情報科学技術研究機構

共催：スーパーコンピューティング技術産業応用協議会（産応協/ICSCP）、ポスト「京」重点課題⑤「エネルギーの高効率な創出、変換・貯蔵、利用の新規基盤技術の開発」、同⑥「革新的クリーンエネルギーシステムの実用化」、同⑦「次世代の産業を支える新機能デバイス・高性能材料の創成」

協賛：TIA かけはし、計算物質科学人材育成コンソーシアム (PCoMS)、情報統合型物質・材料開発イニシアティブ (MI²I)、日本材料学会

日時 2017 年 2 月 23 日 (木) 10:00～17:30 (9:30 受付開始)

場所:秋葉原 UDX 4 階 NEXT-1 (東京都千代田区) ※JR 秋葉原駅電気街口徒歩 2 分

【CDMSI Event Announcement】 Feb 20-21

CDMSI Int'l WS "Scale bridging for the atomistic design of high performance materials"

サブ課題D、E、F連携により、以下のワークショップを開催致します。

材料マルチスケールシミュレーション国際ワークショップ

本ワークショップでは、鉄鋼、磁石、化学品におけるマルチスケールシミュレーションに関する最新成果の紹介や課題の共有を行います。そして参加者間で議論し、これらの物質に共通した新計算手法の検討や新たな共同研究の創出などにつなげたいと考えております。

CDMSI 業務参加者・協力者の皆さまには、予算の範囲内で旅費が支給されますので、お早めにお申し込み下さい。

また、本イベントは基本的に英語で行われます。普段、日本語中心のイベントにはご参加されていない方々のお越しもお待ちしております。

何卒、よろしくお願い致します。

<プログラム詳細・申込サイト>

><http://post-k.cms-initiative.jp/events/workshop2017220>

日程：2017年2月20日(月)13:00~17:35 (18:00~18:00 懇談会)、
2月21日(火)9:30~18:00

場所：ステーションコンファレンス東京5階503ABCD (定員：180名)

産協協欧州技術動向調査の実施

産協協ロードマップ TF では、産業界における HPC とシミュレーションの重要性を踏まえて、産業の基盤となるべきシミュレーションソフトウェアを見出すための検討並びに産業界におけるシミュレーション・ロードマップの作成動向に取り組んでいます。平成 28 年度調査活動の一環として欧州技術動向調査の計画立案を行い、調査派遣を実施することとなりました。今回は、欧州におけるアプリケーションソフトウェア開発元、シミュレーション技術に注力して産学連携に取り組んでいる研究所、スーパーコンピュータを整備して産業界に利用促進を行っている機関などを選定しました。

調査結果は、産業ソフトウェアやシミュレーション・ロードマップの検討に活用するだけでなく、HPCI や国への提言に当たっても、産学連携の先進事例や共通する課題など、大いに参考にする予定であります。

□目的：シミュレーション・ロードマップの検討に資するため、欧州におけるアプリケーション技術の動向、産業界向けスパコン利用の環境、シミュレーション利用促進の取り組み等を調査する。

□派遣時期：2017年1月29日(日)~2月7日(火)8泊10日

□訪問国：イギリス、ドイツ、スウェーデン、スペイン、ベルギー

□訪問者：産協協ロードマップ TF 委員 8名

今後の予定

2/13 第7回ものづくりワークショップ開催

2/23 第37回スーパーコンピューティング・セミナー/第3回材料系ワークショップ開催

「計算物質科学を拓く第一原理MD計算や機能モジュール」

【産協協事務局】

事務局は「虎ノ門」に設けておりますので、お問い合わせをお待ちしております。

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

事務局 滝口、清

電話 03-6435-5425 Email:icscp@nifty.com

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会(産応協)

入会のご案内

産応協は、我が国唯一の産業界におけるコンピュータコミュニケーション技術の利活用の推進、いわゆる利用者サイドからの視点で課題の整理と普及啓発に係る活動展開を進めております。産業分野におけるスーパーコンピューティング技術の利活用は、必要不可欠な技術基盤となっておりますので、それぞれの利活用の中での課題の抽出、関係分野との連携と提言・要望等を行い、我が国の技術進展並びに産業界の発展に寄与する者であります。是非とも趣旨にご賛同を頂き、貴社のご入会をお願いいたします。詳細については、事務局にお問い合わせください。

入会のご案内 **IGSCP**
スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会
(略称:産応協/IGSCP)

- ◇産業界におけるスーパーコンピューティング技術の利活用促進を目的に
2005年12月15日に設立(任意団体活動12年目)
- ◇我が国唯一のユーザコミュニティサイドによる産業界の利活用に関する活動展開
- ◇現在、22社・機関による正会員で構成・運営、参加企業はいつでも歓迎
お問い合わせは、事務局へ icscp@nifty.com

<活動内容>

Copyright © 2018 Industrial Committee for Supercomputing Promotion 2

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会(産応協/IGSCP)

【設立趣旨】
産業界におけるスーパーコンピューティング技術の利活用を推進するため、スーパーコンピュータ用の先進的応用ソフトウェアの評価、利用技術の開発・普及や超高速コンピュータ網を活用したスーパーコンピューティング利用技術の開発、普及啓発などを推進する目的で平成17年12月15日に設立。

【活動体制】
運営体制は、意思決定機関で企業会員(正会員)の役員クラスで構成する運営委員会、その下に会の活動の企画提案を進める企画委員会、更にその企画に基づき実際に事業を推進する実行委員会の3委員会を設置し、人材育成、情報共有、スーパーコンピューティングの利活用推進に向けての提言、提言の取り纏め等幅広い活動を実施

文部科学省
経済産業省

国家プロジェクト
・ホスト「京」開発
・HPCIの運営

《運営体制》

事務局 → 運営委員会
→ 企画委員会
→ 実行委員会

正会員(賛同参加企業)

《活動概要》

施設運営/利用拡大
-産業界活用拡大に向けた提言
取り纏め、提言
-産業界ソフトの検討
-産業界シミュレーションロードマップの策定
-HPCIコンソーシアムへの参画

普及啓発/人材育成
-スーパーコンピューティングセミナー
-HPCI産業界利用スクール
-ものづくりアークショプ
-シンポジウム
-地域高校との技術交流会

業界団体

本協議会のアドレス
<http://www.icscp.jp>

IGSCP スーパーコンピューティング技術産業応用協議会(産応協)

*FOCUS 主催 1/25 開催:第9回トップセミナーにおいて、PR活動した資料